

## 岩国国際集会 2012 集会宣言

米軍岩国基地の強化に反対し、同時に沖縄―「本土」をつらぬくオスプレイ配備撤回のたたかいを進めながら、私たちは全国からここ岩国に集まった。2006年3月の住民投票で示された基地強化に反対する圧倒的な市民の意思にもかかわらず、厚木基地からの空母艦載機の移駐計画に加えて、愛宕山米軍住宅建設策動、さらにはオスプレイの運用拠点化など、岩国基地の強化に向けた日米政府の攻撃は年を追うごとに強められている。私たちは住民の意思を踏みにじり、岩国基地を東北アジア最大規模の米軍基地に変貌させようとするこのような米日政府の策動を弾劾し、岩国市民の地元での粘り強いたたかいと結びつき、それと連帯して、岩国基地強化に反対するたたかいを全国各地でさらに強力におし進めていく。

米日政府が合意した在沖・在日米軍の再編計画は2014年までのその完成をうたうものであった。しかし、それは基地強化の主要な対象とされた沖縄、岩国、神奈川の現地住民のたたかいによってすでに破綻に追い込まれている。とりわけ沖縄の普天間基地撤去―辺野古新基地建設阻止、高江ヘリパッド反対の闘いは決定的である。私たちは現地でのたたかいに連帯し、米日政府にこの米軍再編計画を最終的に断念させるために全力をあげてたたかい抜いてゆく。

日本政府はこのかん侵略的領土拡張政策―排外主義煽動を強力に繰り広げることで、日米安保―日米軍事同盟体制と在沖・在日米軍基地の強化策動を正当化しようとしてきた。「尖閣諸島（釣魚諸島）を守るためにオスプレイの配備は必要」などという主張もなされてきた。「日米防衛協力のための指針」（ガイドライン）の更なる改定さえ策動されている。今あらためて日米安保体制とどのように向き合うのが日本の民衆に問われている。私たちは領土問題を利用した排外主義煽動と対決し、米日のアジア支配と民衆抑圧の強化のための日米安保体制に反対してたたかい、アジア民衆との連帯・団結の道を選ぶことを確認する。

私たちはまた、さる10月16日に沖縄で起こった米兵による集団レイプ事件を最大限の怒りをもって弾劾する。米軍基地がある限りこのような米軍による性犯罪は繰り返されてゆく。在日米軍当局による「夜間外出禁止令」以後も継続する米軍犯罪は、米軍が言うところの「綱紀粛清」が何の意味も持たないことを明らかにしている。米軍基地撤去―日米安保廃棄以外、米兵による性暴力や凶悪犯罪をなくす道はないのだ。

激しさを増す岩国基地の強化策動および在沖・在日米軍基地の強化策動は、米軍のアジア戦略重点化戦略の一部である。TPPでアジア経済支配をねらう米国の中国および朝鮮民主主義人民共和国を標的とした新軍事戦略のもとで、韓国・済州島での海軍基地建設、オーストラリアへの米海兵隊の大規模駐留、フィリピンにおける米軍駐留の常態化と合同軍事演習の激化、グアムでの米軍基地の拡大・強化など、アジア太平洋各地において米軍基地および米軍プレゼンスの全面的な強化が進められようとしている。私たちはこのような攻撃とたたかうアジア各地の民衆と連帯し、反基地国際共同闘争のさらなる前進をかちとってゆく。

私たちはまた、米国に支援されたイスラエルによるガザ空爆―民衆虐殺を怒りを込めて弾劾する。

岩国市民と連帯し、岩国基地の一大強化を阻止しよう。沖縄・岩国・神奈川の反基地闘争の結合をさらに推進しよう。アジアからの米軍の総撤収を実現しよう。

2012年11月24日  
岩国国際集会参加者一同